

**9月定例会**は、8月25日から9月15日までの22日間の会期で開催しました。

市長から一般会計補正予算や条例改正、人事、令和2年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計）などが提案され、いずれも原案どおり可決・同意・認定しました。

また、議会の委員会や議員から意見書3件が提案され可決しました。

（採決結果14～15ページ・意見書4ページ）

## 一般会計決算の状況

令和2年度の歳入は497億3019万円、歳出は475億7314万円でいずれも前年度と比べて増えています。

### 増加の主な要因は

歳入面は、新型コロナウイルス感染症対策にかかる国の補助金や臨時交付金、汚泥再生処理センター建設や災害復旧に伴う市債が増えたことによるものです。

歳出面は、新型コロナウイルス感染症対策のための給付金や支援等による民生費や衛生費、令和元年度・令和2年度の豪雨災害による災害復旧費が増えています。

### 黒字決算で3億円を基金に

歳入歳出差引額から令和3年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支額は5億5847万円の黒字となり、この中から3億円が基金に積み立てられています。

## 経常収支比率

**94.6%**

※経常収支比率

財政の弾力性を示す指標で、比率が高くなれば市の独自事業の抑制等が懸念される。

## 実質公債費比率（3ヵ年平均）

令和2年度

**8.9%**

早期健全化基準※

**25.0%**

※早期健全化基準

財政健全化法に規定された基準で、基準値を超えた場合は、財政の健全化が求められる。

## 令和2年度一般会計決算状況

**歳入総額** 497億3019万円  
前年度比+26.9%

**歳出総額** 475億7314万円  
前年度比+26.1%

繰り越すべき額 **15億9857万円**

**実質収支額** 5億5847万円  
**《黒字決算》**

（決算状況及び記事の金額は千円以下切り捨て）



### 財政指標でみると

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は94.6%（令和元年度98.1%）と減少しました。

### 財政健全化法に基づく結果は良好

借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率（3ヵ年平均値）は8.9%で、前年度より0.1ポイント減少しています。早期健全化基準の25.0%を大きく下回っていますが、今後も厳しい財政事情が見込まれるなか、継続して維持する努力が望まれています。

このほかの財政健全化法に基づく指標からも市の財政は良好な状況と認められています。

議会がチェック！

# 予算は適正に使われたか

## 令和2年度 決算を認定

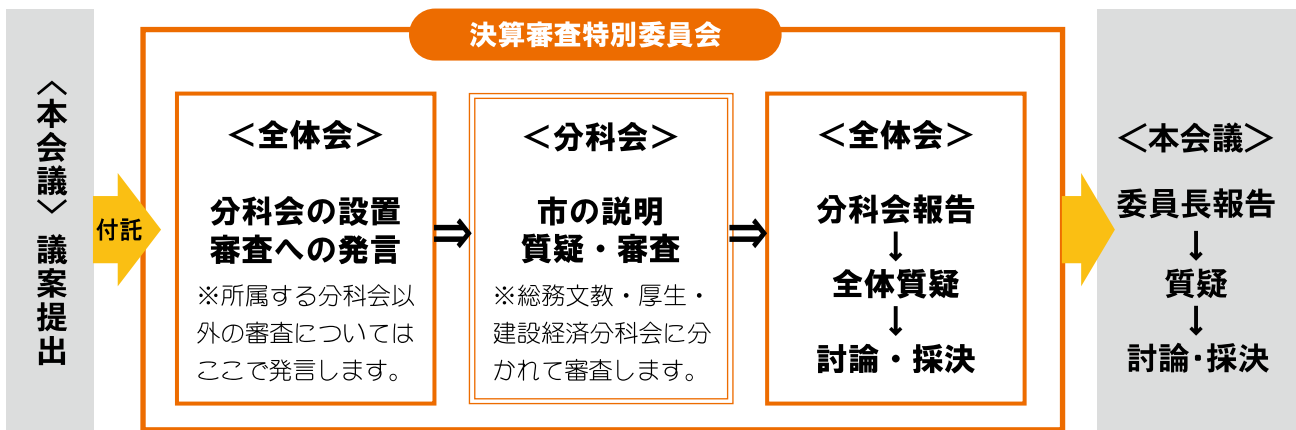


決算審査は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのか、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証し、詳しく審査するため、分科会（各常任委員会）で審査に当たりました。

### 決算審査特別委員会

#### ◆審査の流れ



#### ◆審査の結果（委員長報告）

〔認定第1号〕令和2年度八女市各会計歳入歳出決算認定については、一般会計、特別会計とともに各分科会からの指摘事項はありませんでした。討論において反対討論が1件あり、採決の結果、賛成多数で認めることに決しました。

〔認定第2号〕令和2年度八女市水道事業会計決算認定〔認定第3号〕令和2年度八女市下水道事業会計決算認定についても指摘事項はありませんでした。採決の結果、全会一致で認めることに決しました。

#### 本会議 「決算認定」討論

##### 反対討論（要旨）

差し押さえをしているが、預貯金を差し押さえすれば、その日の食事もできなくなる可能性がある。差し押さえでなく滞納処分の執行停止を行う必要がある。同和関係事業に多額な支出があるが、必要な施策は一般対策で行うべき。  
(森 茂生)

##### 賛成討論（要旨）

一般会計及び6つの特別会計の総括決算の黒字は、コロナ禍の影響を考慮すると価値ある結果と捉える。新型コロナウイルス感染症に対する市独自の41事業は、市民ニーズに応えた施策と評価する。また、財源に国の交付金等を高い比率で獲得できたことは、財政負担の軽減につながった。  
(高橋 信広)

# コロナ対策へさらなる支援

一般会計  
補正予算の主な事業

一般会計に6億6699万3千円を追加する補正予算第5号と、8月の記録的大雨による災害に伴う復旧事業や新型コロナウイルス感染症対策の経費など15億2502万6千円を追加する補正予算第6号を原案のとおり可決し、一般会計予算の総額は417億8288万9千円となりました。

## コロナ対策に追加支援

### 市内事業所で行う新しい生活様式への取り組みに助成金

新しい生活様式対応事業導入助成金交付事業 1億1553万円

※市独自事業。市内事業所を対象に上限10万円（対象経費の2/3）を助成します。

### 売上が大きく減少した市内事業所や農家に一律10万円

事業継続応援金交付事業（事業所） 6745万円

農業生産支援金交付事業（農家） 2513万円

※市独自事業。  
（交付要件があります）



### 自宅療養で食料等の調達が困難な方へ 食料品や日用品を配送

自宅療養者等支援事業 303万円

## 地方の声を国政へ

△請願・意見書▽

9月定例会で請願2件を採択し、それぞれ意見書が委員会から提案されました。また、議員から意見書1件が提案され、いずれも可決しました。可決した意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣等に送付しました。

中国政府による新疆ウイグル自治区などへの人権侵害に関する意見書  
中国自治区などへの人権侵害に関するもの。  
（請願採択による）

【要旨】 中国政府による新疆ウイグル自治区などへの人権侵害に関して、国に調査と中国政府に対する非難と抗議を求めるもの。  
（請願採択による）  
請願者：近藤将勝ほか13人、紹介議員：牛島孝之

【要旨】 令和4年度地方税制改正に向けてコロナ禍への対応はもとより、地方の防災・減災、雇用確保などの喫緊の課題や、医療介護、子育てなどの社会保障関係経費等、将来に向け増大する財政需要に見合う財源確保のため、地方税制の充実確保を求めるもの。  
（議員提案による）

沖縄戦没者の遺骨を含む土砂を採取させないよう求める意見書  
【要旨】 国の責任において「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に基づき沖縄本島南部の遺骨収集を徹底すること、戦没者の遺骨が眠る土地

## 災害の復旧に向けて

### 道路損壊、がけ崩れ被害 復旧工事を実施

災害復旧費 13億9930万円



※自宅からでもスマートフォンやパソコンなどで本が読めるように。

## 接触の機会を減らすため

非来館の図書館サービス開始へ

### 電子書籍3000タイトル導入

図書資料情報提供事業 1287万円

コンビニ等がない地域に

### 証明書の自動交付機を設置

各証明書自動交付機  
導入事業 1415万円



ほかに、学童保育事業運営業務委託料や小学校給食調理等業務委託料の追加、自殺対策費、経営継承後の経営発展に向けた取り組みに対する補助などの予算が計上されました。

#### 補正予算第5号

#### 反対討論(要旨)

小学校給食調理等業務委託料が計上されているが、学校給食を民間委託することで業務コスト削減だけが先行し、一番大切な安心安全が損なわれることが懸念される。その結果、低賃金で調理員を雇用することになり、官製フリーングプアをつくり出すことになるのではないかと。学校給食は教育の一環である。学校給食の中での食育推進には児童生徒へのきめ細やかな指導が行われなければならない。

森 茂生

関連記事

「委員会審査」

6〜7ページ



### 人権擁護委員候補者

次の方を適任と認めました。

ひぐち きょうこ  
樋口 京子 氏

## 人事案件

### 農業委員会委員

次の方を任命することに同意しました。

くにたけ さとる  
國武 覚 氏